

# 意識調査の結果

◆問い合わせ

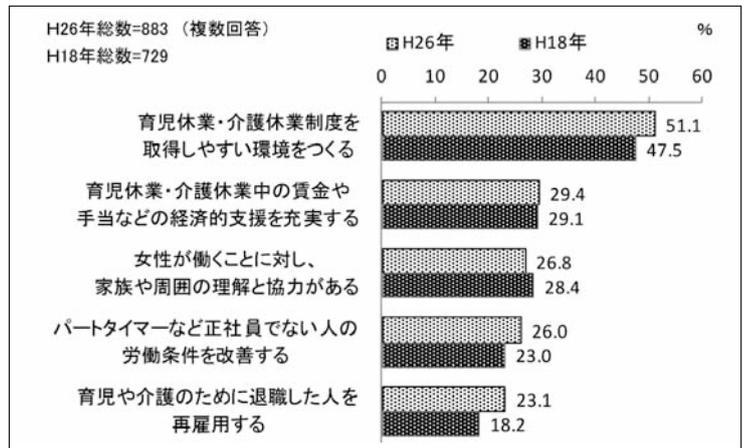
企画財政課企画調整班 ☎84-1218

その進捗状況や男女共同参画に関するみなさんの考えや意見を把握するため、意識調査を実施しました。集計結果をご覧ください。なお、「横芝光町男女共同参画についての町民意識調査報告書」は企画財政課、または図書館で閲覧できます。

### ③仕事と家庭の両立のために必要なこと

#### ◇「育児休業・介護休業を取得しやすい環境」をつくるのが最も重要

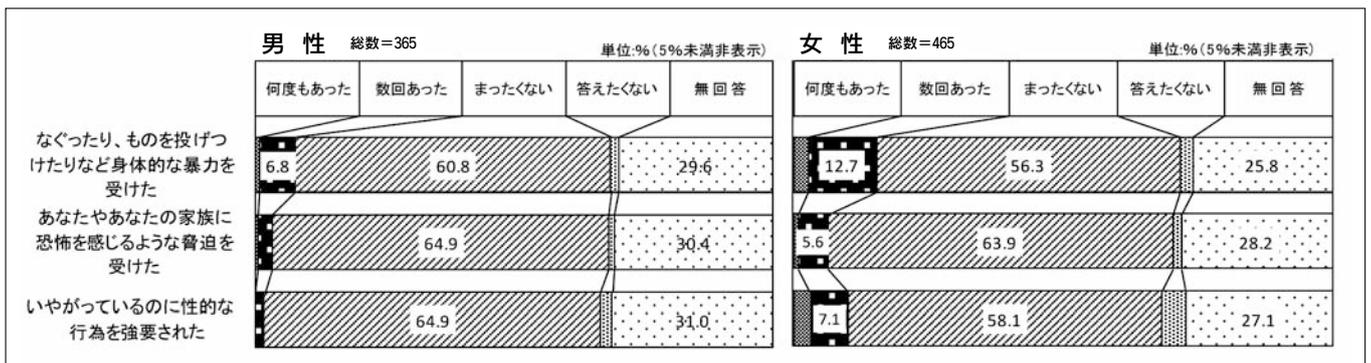
男女がともに仕事と家庭を両立していくため、「育児休業・介護休業を取得しやすい環境」が必要な割合が全体の約半数となっています。また、「育児休業・介護休業中の賃金や手当などの経済的支援」、「女性が働くことに対し、家族や周囲の理解と協力がある」などがあげられており、前回調査と全体的な傾向は変わりません。働き方の見直しなど、ワーク・ライフ・バランス(仕事と家庭の調和)実現のための支援が課題といえます。



### ④配偶者や恋人からの暴力(DV)

#### ◇女性の15%、男性の7%に、身体的暴力の被害経験がある。被害者の6割は誰にも相談していない。

配偶者・パートナーや恋人から、「身体的な暴力」を受けたことが何度もあった割合は約3%、数回あった割合は約12%で、あわせて約15%の女性に被害経験があります。男性の被害経験の割合は女性よりも低くなっていますが、7%が暴力を受けたことがあります。また、脅迫など「心理的暴力」は6%、「性的暴力」は10%の女性に被害経験があります。前回調査と比べると、男女ともに「まったくない」の回答が減り、「無回答」が増えています。暴力を受けたことに対して、誰かに「相談した」との回答は3割となっています。



### ⑤男女共同参画社会実現のために必要なこと

#### ◇就労の場に関する支援や、子どもと高齢者に関する支援が求められている。

男女共同参画社会実現のために行政が取り組むべきことは、保育サービスの充実や男女が平等に働ける職場環境づくり、女性の就労支援、介護サービスの充実など、老後の生活の安定を支援することなどの割合が高くなっています。

